

テクニカルライティング第5回・配布資料（担当・斎藤俊則）

議論の枠組みの例；序論・本論・結論一型

<木下是雄『レポートの組み立て方』（ちくま学芸文庫）、110頁、3. 6. 2「レポートの標準的な構成」より抜粋（一部斎藤が編集）>

序論（introduction）

- <導入部>として読み手を本論にさそいこみ、抵抗なく本論にはいっていけるように準備を整える
- (a) 本論で取り上げる問題－話題－は何か
- (b) その問題をなぜ－どんな動機によって－とりあげたのか
- (c) その問題の背景はどんなものか
- (d) レポート作成者はその問題についてどんな調査・研究をこころみたか
- (e) どんな結論（見解、主張）に到達したか

本論（body）

- 調査・研究のやり方と、それによって明らかになった事実を述べる
- (i) 調査・研究のやり方
 - 実際にやったことを具体的に記述
- (ii) 調査・研究の結果
 - レポートの核心となる部分。内容は基本的に「事実」

結論（conclusion）

- (1) 本論の(ii)：「調査・研究の結果」を簡潔に列挙してまとめる
- (2) それにもとづいて自分自身の見解（主張）を組み立てる
- (3) そこでおこなった調査・研究の意義を述べ、将来の問題を展望する